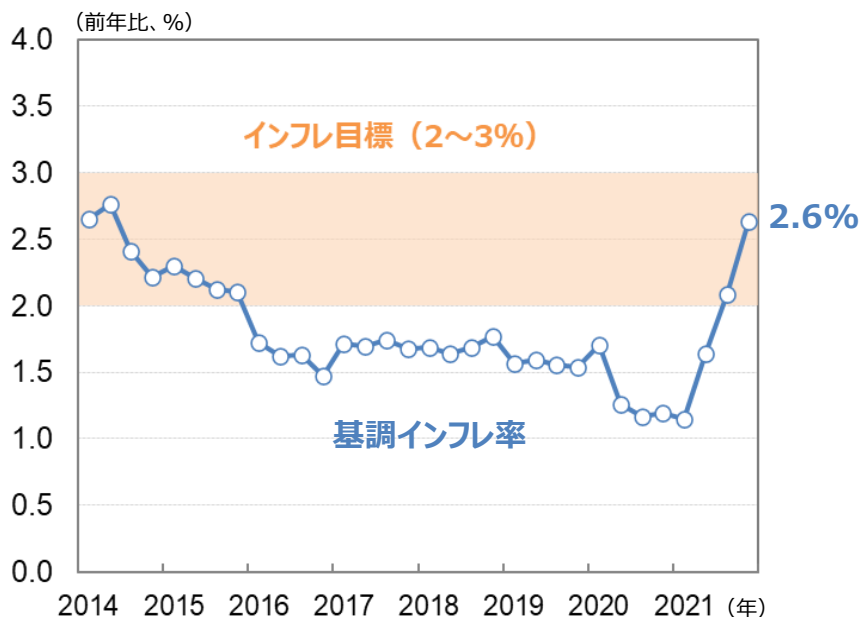


豪州準備銀行の利上げの鍵を握る『インフレ』と『雇用』

豪州準備銀行（RBA）が考える利上げの条件は？

- 豪州準備銀行（RBA）が重視する基調インフレ率は2021年10-12月期にインフレ目標圏内の前年比+2.6%まで上昇しています。今後は2～3%の目標圏内で基調インフレ率が定着するかどうかRBAの利上げ転換の鍵となりそうです。
- 豪州の2022年2月の雇用統計は、失業率が約14年ぶりの低水準（2008年8月以来）となる+4.0%を記録し、国内経済の底堅さが労働市場で顕著に表れる結果となっています。今後、労働市場のひっ迫が賃金上昇を通じてインフレ圧力に繋がれば、RBAによる利上げを後押しする要因になると考えられます。

豪州のインフレ率の推移



(出所) 豪州政府統計局 (期間) 2014年1-3月期～2021年10-12月期
 ※基調インフレ率はCPIトリム平均値

豪州の失業率と賃金上昇率



(出所) CEIC (期間) 失業率：2006年12月～2022年2月、賃金上昇率：2006年10-12月期～2021年10-12月期 ※賃金上昇率は賃金価格指数（賞与除く）

今後はインフレ率が2～3%の目標圏内で定着するかに注目。足元の賃金上昇がインフレに繋がればRBAの利上げを後押しする可能性。

次号は豪ドル相場と資源価格をご紹介します